

地域密着型特別養護老人ホーム

愛護苑

広報
第29号

2023.3.24

印刷 あべ印刷株式会社

- 発行 社会福祉法人 愛護会 地域密着型特別養護老人ホーム 愛護苑
- 住所 〒023-0132 岩手県奥州市水沢羽田町字水無沢491-3
- TEL 0197-51-6835 ● FAX 0197-51-6836 ● URL <http://aigokai.jp/>
- 責任者 千葉信男 ● E-mail aigoen@aigokai.jp
- 編集 岩城利行 山口翔 切金唯希 佐藤信子 千田進太郎 成田朋子



回想法で昔の経験や思い出を語り合う利用者さん

新年度に向けて

施設長補佐 真柳 信

令和四年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な制限を強いられる中で施設運営となりました。利用者さんやご家族の方々には外出自粛や面会制限等にご協力いただきまして、ありがとうございます。

五月からは感染法上の扱いが五類に移行されることで、生活環境も変わっていくことが予想されますが、新型コロナウイルス感染症が終息したわけではなく、高齢者施設では引き続き感染対策を行っていく必要があります。愛護苑でも状況に応じた対応を行ってまいりますので、ご理解いただければと思います。

さて、愛護苑は昨年の六月で開設から十年が経過しました。介護職の慢性的な人材不足や感染症対策に加え、電気料金や生活用品等の大幅な値上げによるコストの増加など、運営の課題は山積しておりますが、これからも利用者さんが安心して、笑顔の絶えない生活環境を提供できるように、従業員一同努力していきたいと思います。令和五年度も皆様のご指導、ご協力をお願い致します。



ひなまつり



こすもすユニットのお内裏様とお雛様



いちようユニットのお内裏様とお雛様



さくらユニットのお内裏様とお雛様



あざみユニットのお内裏様とお雛様



「ひな祭りだね」と微笑まれておりました



行事食を美味しそうに召し上がっている利用者さん



こすもすユニットのお内裏様

三月三日、ひな祭り行事が行われました。利用者さんにお内裏様、お雛様の恰好をしていただき、写真撮影を行いました。皆さん素敵な笑顔を見せてくださいました。昼食は、ちらし寿司が提供され、ひな祭りの雰囲気をもたえられておられました。

岩 城 利 行



節 分



仲良く豆を投げる利用者さん



鬼を見て笑っている利用者さん



豆を投げる利用者さん



鬼になった職員さん



鬼を見ても動じない利用者さん



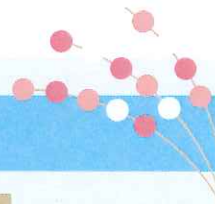
豆を構える利用者さん

二月三日に節分行事の豆まきが行われました。利用者さんは、怖い赤鬼や青鬼に豆をぶつけて鬼退治をされました。お昼には特別メニューの恵方巻、おやつには鬼の形のケーキなどをいただき、節分を満喫されていました。

山 口 翔



小正月



和やかな雰囲気です食事をされる利用者さん



みずき飾りを見られる利用者さん

小正月は、年神様が田んぼに帰り、田の神様になり豊作祈願をされると言われています。今年も愛護苑では、利用者さんの健康を願い、餅花を飾り、小豆粥をいただきました。

佐藤 信子



無病息災を願って



昼食は小豆粥でした



今年も健やかに過ごしましょう



クリスマス



クリスマスメニュー、美味しそうに食べてくださいました！



お昼はクリスマスメニュー、豪華なご飯に戸惑い気味？



お昼ご飯はごちそう！おいしそう！！



職員も記念撮影！サンタ服を着て笑顔でパチリ！



クリスマスプレゼント！カメラを向けたらキメ願ってくれました



クリスマスプレゼント！中身は何か？

十二月二十三日クリスマス会が行われました。今年は新型コロナウイルスの感染者が増加した時期と重なり、感染対策の為、長期入居ユニットと短期入所ユニットそれぞれで開催しました。長期入居ユニットでは職員が各ユニットを回り、ハンドベル演奏をしました。中には演奏に合わせて素敵な歌声や合いの手を入れてくださる利用者さんもいて、大変盛り上がったクリスマス会になりました。短期入所ユニットでは職員がサンタの衣装を着てケーキを配り、皆さんそろって楽しく食事をしました。制限が多い中での行事となりましたが、たくさんの「楽しかった」を聞くことができたクリスマス会になりました。

切金 唯希



ハンドベル演奏！みんなで顔を見合わせて…タイミングは大丈夫？



ハンドベル演奏！練習の成果を発揮できたかな…？

厨房から 愛護苑の食卓

❀特別メニューのご紹介❀

2月3日には節分行事に合わせて恵方巻のメニューを、3月3日にはひな祭り行事に合わせて春らしいメニューをそれぞれ提供しました。恵方巻には海苔ではなく玉子で巻いた巻き寿司を作りました。海苔よりも噛み切りやすく、安全に食べていただけるようなこのような調理方法を選びました。ひな祭りにはひし形のちらし寿司風の押し寿司を提供しました。また、タラの芽の天ぷらを提供し少しずつ春の訪れを感じていただけるよう季節の食材を使用しております。また、毎月1回は焼き立てパンの日を設け、一から手作りのパンを食事提供の時間に合わせて焼きあがるようにし、温かいパンを提供しています。利用者さんからも好評です。今後もバリエーション豊かな食事作りに挑戦していきたいです！

栄養士 小野寺 彩



ひな祭りの行事食



節分の行事食



焼き立てパンの日

医務から健康トピック

「脳卒中について」

看護師 千葉 律子

脳卒中は、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血の総称で命が助かっていても、重い後遺症が残ることが多く、岩手県は死亡者数第一位です。

脳梗塞は、脳血管に血の塊（血栓）が詰まり、血流が滞り、神経細胞が傷つきます。主に二つの治療法が普及しており、「脳血栓溶解療法」は、血栓を溶かす点滴薬「t-PA」を投与して血流を再開させます。「血栓回収療法」は、太ももの付け根の血管に細い管（カテーテル）を入れ、脳内の血栓を取り除きます。

脳出血は、脳血管が破れて出血します。薬で血圧を下げたり、脳内にできた血腫を手術で取り除いたりします。

くも膜下出血は、脳の太い動脈にできたこぶが破裂して起こり、激しい頭痛を伴います。

発生のリスクを最も高めるとされているのが高血圧で、過度な運動や、減塩、野菜・果物を含むバランスのとれた食事を心がけることが重要です。

脳卒中の救命率を高め、後遺症を減らすには、早期の受診がカギとなります。

- ①顔の半分がゆがむ (Face)
 - ②手足に力が入らない (Arm)
 - ③ろれつが回らない (Speech)
 - ④発症時刻 (Time)
- 「FAST」で脳卒中を疑い、早期に病院を受診しましょう。

引用文献：「脳卒中 早期治療で救命」

読売新聞 令和四年十二月二十一日掲載

余暇活動



運動会も開催されました！



ケーキ作りをされる利用者さん



風船バレーをされる利用者さん

編集後記

今年度は、余暇支援委員会の活動もあり、利用者さんに様々なイベントに参加していただき、穏やかに楽しく過ごしていただけたのではないかと思います。また、その様子を広報誌やお知らせ版、ユニットブログ等で発信してきました。来年度も沢山の活動や情報をお伝えしていければと思います。

(広報委員一同)